

委託事業実施内容報告書
平成28年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(B)】
実施内容報告書

団体名： 公益財団法人京都府国際センター

1. 事業の概要

事業名称	広域散在に対応した日本語教育体制整備事業
事業の目的	地域における日本語支援などの多文化共生に係る施策を推進するにあたり、府内市町村や市町村国際化協会だけでは十分に事業を展開できないケースが多い。そのため、当センターが中心となって日本語支援ボランティアの養成・研修や日本語教室の立ち上げ・運営に関する支援事業を各地域で展開し、京都府の日本語教育体制の整備につなげる。また、地域における日本語教育を持続可能なものとするため、事業実施にあたっては各市町村と協働し、行政の役割としての日本語教育について理解を深めてもらう。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	・府内市町村においては日本語教育の担当部署が明確でなく、市町村国際化協会も単独で日本語教育事業に取り組めるところはほとんど見当たらない。 ・地域日本語教室は人員も少なく財政的にも脆弱な上、行政の支援を得ているところも限られボランティアの善意と熱意で成り立っている。 ・日本語教室運営に関してのノウハウは地域格差が大きく、府内全域で平準化を図る必要がある。 ・日本語教育体制の充実を図るためにはその必要性を一般住民および行政に理解してもらう必要がある。
本事業の対象とする空白地域の状況	京都市を除く府内市町村在住の外国人住民は広域的に散在しているため、各自治体にとって日本語教育事業の優先順位は高くない。今回対象とする福知山市も同様であるが、同市は京都府北中部の市町村では2番目に外国人住民が多く(843人)、また府全体に比してニューカマーの割合が高いことから日本語学習のニーズは高いと思われる。日本語教室がないため、学習希望者は綾部市など近隣市町村の教室に通っているが、学習者を受け入れている教室からも以前から同市における教室設置の必要性が指摘されている。
事業内容の概要	・府内日本語教室のネットワーク化(各教室同士の顔の見える関係づくりや学習指導・教室運営の方法など情報共有をすることで地域格差をなくすとともに各教室が抱える課題解決の場とする) ・府内市町村へのモデルとしての日本語教室の開催(カリキュラムや指導法を地域日本語教室に公開することで平準化を図る)および広域散在対応型日本語学習支援の検討 ・府北中部および南部日本語教室と協働した人材育成講座の実施(各地域で日本語学習支援に関わる人材を育成することで外国人住民が学習機会を得られるようにする。特に教室内でボランティアに対して指導ができる中核メンバーを各地で養成する) ・日本語教育への理解促進(日本語教育の意義について一般住民に理解してもらうことで日本語学習支援の裾野を広げ、市町村行政からの協力を得やすくする)
事業の実施期間	平成28年4月～平成29年3月(12か月間)

2. 事業の実施体制

(1) 運営委員会

【運営委員】

1	諏訪喜栄子	綾部国際交流協会
2	渡部真理	京都にほんごRings
3	花岡正義	京都にほんごRings
4	麻田友子	京丹後市国際交流協会
5	青木良子	南丹市国際交流協会
6	西岡正志	亀岡国際交流協会
7	大久保雅由	城陽市国際交流協会
8	近藤徳明	(公財)京都府国際センター
9		
10		



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成28年7月28日 (土) 15:30～16:30	1時間	南丹市国際交流会館	諏訪喜栄子 花岡正義 麻田友子 青木良子 西岡正志 近藤徳明	・日本語支援ボランティア養成講座(福知山市)について ・府内日本語学習支援事業の実施状況について
2	平成28年12月11日 (日) 12:30～13:30	1時間	京都府国際センター	花岡正義 渡部真理 青木良子 大久保雅由 近藤徳明	・福知山市における日本語教室立ち上げについて ・府内日本語学習支援事業の実施状況について
3	平成29年2月2日 (木) 15:30～16:30	1時間	南丹市国際交流会館	諏訪喜栄子 麻田友子 青木良子 西岡正志 花岡正義 近藤徳明	・福知山市日本語教室立ち上げに係る進捗状況 ・府内日本語学習支援事業の実施状況について ・平成28年度日本語教育事業実施報告 ・平成29年度日本語教育事業の展開について

(2) 地域における関係機関・団体等との連携・協力

連携体制	府内市町村、市町村国際化協会および府内日本語教室ネットワーク組織である京都にほんごRingsと連携して日本語教室のネットワーク化を図り、日本語学習支援の人材育成において日本語学校や地域日本語教室の協力を得て新規ボランティアの養成や既存ボランティアの研修を実施。 また、人材養成後には開催地各市町村や市町村国際化協会に日本語支援ボランティアの受け皿役を担ってもらう。
------	---

(3)中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制

本 事 業 の 実 施 体 制	渡部真理(京都にほんごRings):府南部の日本語教育体制整備についての意見集約、新規ボランティアの養成、日本語教育への理解促進に関するコーディネート 諏訪喜栄子(綾部国際交流協会):府北中部の日本語教育体制整備についての意見集約、既存ボランティアの研修に関するコーディネート 京都にほんごRings:地域日本語教室ネットワークの構築、新規ボランティア養成に係る講師派遣 京都府国際センター:全ての取組に関するコーディネート
--------------------------------------	---

3. 各取組の報告

＜取組1＞									
取組1	取組の名称		京都府日本語教室ネットワーク会議の実施						
	取組の目標		京都府全域のネットワーク体制を整備することで、情報や課題の共有など各地域の教室が孤立することなく他地域の教室との連携を図ることができ、それにより府域全体での日本語教育が活性化される。						
	取組の内容		府内の日本語教育の体制整備について協議する場として日本語教室ネットワーク会議を実施する。 当センターが中心となって構築した北中部における日本語教室ネットワークおよび京都にほんごRingsが中心となって運営されている南部における日本語教室ネットワークを活用し京都府全域の日本語教育体制整備につなげる。						
	☒	空白地域を含む場合、空白地域での活動	空白地域である福知山市や舞鶴市など中丹地域の国際化担当課にネットワーク会議に参加してもらい、日本語教室設置に向けての協議を行う。						
	取組による体制整備		日本語教室のネットワーク化を実現することにより養成講座や研修などの人材育成を効果的かつ効率的に実施できる。また、北部および南部ネットワークの連携により京都府全域における体制整備につなげる。						
	取組による日本語能力の向上								
	参加対象者		府内市町村日本語教育担当、市町村国際化協会、地域日本語教室	参加者数 (内 外国人数)		28人 (0人)			
	広報及び募集方法		府内市町村、国際化協会、日本語教室などに対して通知						
	開催時間数		総時間6時間(空白地域 時間)						
	主な連携・協働先		市町村、市町村国際化協会、地域日本語教室						
	開催場所		南丹市国際交流会館および京都府国際センター						
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	参加者数	取組テーマ	内容	会議出席者名	補助者名	
1	平成28年7月28日 (木) 13:30～15:30	2	南丹市国際交流会館	14	京都府北中部における日本語教育体制の整備	・南丹市国際交流協会日本語教室活動紹介 ・各教室の現状と今年度の取り組み ・平成28年度京都府国際センター日本語学習支援事業について ・日本語支援ボランティア養成講座(福知山市)	麻田友子 伊庭弥広 諏訪喜栄子 森正恵 井尻治 小林義博 佐藤文則 青木良子 西岡正志 井上敬一 八木英敏 花岡正義 玉木千絵 近藤徳明		
2	平成28年12月11日 (日) 10:30～12:30	2	京都府国際センター	13	京都府における日本語教育体制の整備	・府内日本語教室データ集の作成について ・日本語教室における子どもの支援について ・日本語支援ボランティア養成講座(福知山市)の進捗状況	渡部真理 西澤悦子 花岡正義 山野範枝 若松章子 北村辰浩 青木良子 八木英敏 湊妙子 木村富士子 坂牧修 大久保雅由 近藤徳明		

3	平成29年2月2日 (木) 13:30～15:30	2	南丹市国際 交流会館	14	京都府北中部におけ る日本語教育体制の 整備	・各教室の日本語学習支援の取組 み ・日本語支援ボランティア養成講座 (福知山市)報告 ・平成29年度京都府国際センター日本 語学習支援事業	麻田友子 鳥居文子 小嶋智沙 伊庭弥広 石田栄 諏訪喜栄子 松井みゆき 小林義博 青木良子 梶原圭市 西岡正志 湊妙子 花岡正義 近藤徳明	
---	---------------------------------	---	---------------	----	------------------------------	---	--	--

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

※2回分を詳細に記載。また、活動内容を示す写真を本報告書に添付

○取組事例①

【第1回 平成28年7月28日】

- ・南丹市国際交流協会日本語教室活動紹介
- ・各教室の現状と今年度の取組み
- ・平成28年度京都府国際センター日本語学習支援事業について
- ・日本語支援ボランティア養成講座(福知山市)



○取組事例②

【第3回 平成29年2月2日】

- ・各教室の日本語学習支援の取組み
- ・日本語支援ボランティア養成講座(福知山市)報告
- ・平成29年度京都府国際センター日本語学習支援事業



(2) 目標の達成状況・成果

※検証方法(アンケートや評価等)も含めて具体的に記載すること。

府内の日本語教育体制整備のための研修や教室の課題解決のための意見交換などが積極的に行われている。
新たな日本語教室立ち上げの協力依頼など、形式的でなく実質的な会議となっている。
開催毎に市町村にも通知をすることで、関心を示す自治体も出てきている。
今年度は日本語教室空白地解消に向けて具体的な協議ができ、来年度にボランティア養成講座を皮切りに日本語教室開設を目指す。

(3) 今後の改善点について

※取組の内容や実施体制などについて改善すべき点を具体的に記載すること。

日本語教育体制の整備を推進するためには市町村行政の役割が欠かせないため、引き続き、市町村担当部署の日本語教育への理解を深め、当会議への参加を促す必要がある。日本語教育に係る施策は優先順位が高くないところが多いが、定期的に会議を設け、粘り強く市町村への投げかけを続けることが必要である。

＜取組2＞									
取組2	取組の名称		外国人住民のための日本語学習支援事業						
	取組の目標		在住外国人に対し生活に必要な日本語の学習機会を提供するとともに、モデル教室とすることで地域格差がある日本語学習支援について平準化を図り、学習者によりよい支援ができるような体制を整える。						
	取組の内容		外国人住民のための日本語教室 日本で生活するにあたり必要な日本語を学習するための教室を開催 期間：春夏期（5月～7月）、秋期（10月～12月）、冬期（1月～3月） 内容：基礎クラス 毎週月・木曜日 全20回 時間：春夏期、秋期 10時15分～12時30分 冬期 10時30分～12時45分 府内地域日本語教育および日本語支援ボランティアに対するサポート モデルカリキュラムを実践しながら、地域日本語教室で活動する日本語支援ボランティアの授業見学を受け入れる。						
	☒	空白地域を含む場合、空白地域での活動	・日本語教室設置を検討している空白地域からの教室見学を受け入れ、モデルカリキュラムや指導方法の紹介をするなど教室の立ち上げを支援する。 ・空白地域に向けて広域派遣型日本語学習支援やWEB通信システムを活用した日本語学習支援について検討する。						
	取組による体制整備		府内各地域に対するモデル教室として実施。カリキュラムや教材は公開することを目的として作成。指導方法を学んでもらうため各地域からの教室見学を受け入れるなどして地域の日本語教室運営の参考としてもらう。						
	取組による日本語能力の向上		外国人住民は当教室で日本語を学習する上で重要な初期指導を受けることにより一定レベルの日本語能力を得ることができ、修了後も各地の地域日本語教室にスムーズに参加することができる。						
	参加対象者		府内在住外国人、地域日本語教室で活動する日本語支援ボランティア				参加者数 （内 外国人数）	69人 （68人）	
	広報及び募集方法		京都府広報、ホームページ、ちらし、DMなど						
	開催時間数		総時間 228時間（空白地域 時間）						
	主な連携・協働先		京都府警、京都市消防局						
	開催場所		京都府国際センター						
参加者の出身・国別内訳 （人数）		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
		12	2	1	12	9	0	5	0
イギリス（5人）、フランス（4人）、台湾（4人）、マレーシア（3人）、スリランカ（2人）、カナダ（2人）、スペイン（1人）、エチオピア（1人）、インド（1人）、チェコ（1人）、アイルランド（1人）、イタリア（1人）、日本（1人）									
実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名	
1	平成28年5月9日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	9	基礎クラスⅠ-① 自己紹介ができる、物の名前を尋ねることができる	日本の挨拶ことばとおじぎ ・名前／国名は～です、お（名前、国）、挨拶表現、おじぎの習慣 ・～は～です、これ／それ／あれ／何、（国名）のN、どこの	京都「えき」日本語教室 内田匡子		
2	平成28年5月12日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	10	基礎クラスⅠ-② 売り場を聞くことができる、施設などの営業時間を聞く	量販店について、日本の施設の利用時間 ・～はここ／そこ／あそこです、～はどこですか、数字（0～100）、助数詞（～階） ・時間、今何時ですか、～は～時から～時までです	京都「えき」日本語教室 堀部裕美		
3	平成28年5月16日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	10	基礎クラスⅠ-③ ファストフード店やカフェで注文できる	飲食店のサービス ・「ひとつ～とお」「200～万」の読みと聞き取り、助数詞（～円、～枚）、外来語表記とその発音	京都「えき」日本語教室 浅田恭子		
4	平成28年5月19日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	9	基礎クラスⅠ-④ 自分の家族が紹介できる、自分の誕生日が言える	自分と相手の家族の呼称 ・数え方（人／年齢）、家族の呼称	京都「えき」日本語教室 内田匡子		
5	平成28年5月23日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	10	基礎クラスⅠ-⑤ 目的地を尋ねることができる	標識や交番のマークについて ・～にあります／います、（移手段）で、Nの（位置詞）に、（場所）から／まで	京都「えき」日本語教室 堀部裕美		

6	平成28年5月26日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-⑥行き 先を確かめてバスや 電車に乗ることができる	切符の案内 ・行きます、来ます、帰ります、(場所) へ／から／まで、～と一緒に、～人 で、(時)に、いつ	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
7	平成28年5月30日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-⑦乗り 物での忘れ物を届け 出ることができる	忘れ物窓口で ・いadj.、なadj.、(いadj./なadj.)+Nで す、どんなNですか、(いadj./なadj.) です、～はどうですか	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
8	平成28年6月2日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-⑧旅 行の感想を述べる	地域の名所、観光施設紹介、観光案 内冊子 ・～はどうでしたか、～はadj.でした、～ は～がadj.です／でした、それに、で も、挨拶表現	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
9	平成28年6月6日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-⑨自 分の体調を医師に伝 えることができる、医 師の簡単な指示が 理解できる	病院、受診料の種類 ・身体の名称、症状、どうしましたか、 ～が痛いです	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
10	平成28年6月9日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-⑩自 分の日常生活につい て話すことができる	日本人の生活を紹介 ・NをVます／ました、(場所)でVます ／ました、(時)にVます／ました	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
11	平成28年6月13日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-⑪贈り 物について話すこと ができる	日本の贈り物の習慣について ・(人)にVます／ました、あげます／も らいます	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
12	平成28年6月16日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅠ-⑫図 書館を利用する	公共施設(図書館、公民館)の利用方 法 ・Nができます、V辞書形+ことができ ます	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
13	平成28年6月20日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅠ-⑬趣 味について話す	日本の伝統的な趣味やスポーツ ・趣味はNです、趣味はV辞書形+こと です、Nが好きです、V辞書形+ことが 好きです、Nが得意です	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
14	平成28年6月23日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	7	基礎クラスⅠ-⑭駅 の券売機で切符が 買える	自動販売機について ・Vて形+ください、Vて形+います(動 作の進行)	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
15	平成28年6月27日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅠ-⑮友 達と住まいや仕事に ついて話せる	訪問時の挨拶や習慣 ・Vて形+います(習慣・状態)	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
16	平成28年6月30日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	6	基礎クラスⅠ-⑯警 察に被害を伝える	安全な暮らし方 ・交通マナーを知る	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
17	平成28年7月4日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	7	基礎クラスⅠ-⑰自 分の希望・要求を伝 えることができる	日本の観光地 ・Nがほしいです、NをVたいです、(場 所)へ／でVたいです、(人)とVたいで す、「どこか」と「どこへ」の違い、ス ピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
18	平成28年7月7日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅠ-⑱ゴミ の出し方について尋 ねることができる	ゴミの分別の仕方 ・Vて形+もいいですか、どうしてで すか、～から(理由)、スピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
19	平成28年7月11日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅠ-⑲人を 誘ったり、人の誘い を受けたりすることが できる	地域の行事やお祭について ・(場所)で(催し)があります、V+ませ んか、V+ましょう、(場所)へN/Vに 行きます、スピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
20	平成28年7月14日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅠ-⑳人 の前でまとまった話 ができる	日本の歌、遊び ・スピーチの原稿を正しく書き、話す	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	

21	平成28年5月9日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅡ-① 初対面の挨拶がで きる、注文ができる	初対面のマナー、日本のファストフ ード・レストランの注文の仕方 ・国名、職業名、場所十の十場所、自 他の区別、お辞儀の習慣 ・買い物や注文をする時の表現、数・ 助数詞、これ・それ・あれ・どれ	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
22	平成28年5月12日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-②自 分の国(町)が紹介 できる	京都の観光情報 ～は～が～です、～はどんなNです か、～はどうですか、それに／でも／ けれども(けど)／が、(場所)に(N)が あります／います	京都「えき」日本 語教室 坂牧修	
23	平成28年5月16日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅡ-③クリ ニックで診察を受け ることができる	診察の手順、薬のもらい方 ・不調表現、身体部位名、いadj.～かっ たです／～くなかったです、なadj.～で した／～じゃありませんでした	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
24	平成28年5月19日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-④日 本と出身地が比較で きる	日本の四季と楽しみ方 ・N1はN2よりadj.です、N1とN2とどち らがadj.ですか、N1(の中)で何／どこ／ だれ／いつ／がいちばんadj.ですか	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
25	平成28年5月23日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-⑤人を 誘う、誘いを受けたり、 上手に断ったりで きる	京都の三大祭と有名な行事 ・日常生活に必要な動詞、助詞「を」 「で」「に」「から」「まで」、(場所)へ行き ます／来ます／帰ります、Vませんか ／ましよう	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
26	平成28年5月26日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-⑥趣 味・嗜好について友 達と話せる	日本人の余暇の過ごし方 ・NはV辞書形ことが～です、V辞書形 ことです、趣味は何ですか Nです	京都「えき」日本 語教室 坂牧修	
27	平成28年5月30日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	13	基礎クラスⅡ-⑦携 帯電話の契約ができ る	役所でできること ・Vて形、Vて形ください、Vて形いま す、Vて形もいいですか(か)	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
28	平成28年6月2日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅡ-⑧ ルールやマナーを理 解して生活できる	地域や社会のルールとマナー(マン ションのルールや公共マナーなど) ・Vない形、Vない形＋ください、Vな ければなりません、Vて形＋はいけま せん、どうしてですか ～から	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
29	平成28年6月6日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-⑨自 分の思いや経験が 話せる	日本文化と体験教室の紹介 普通体、Vた形、Vた形＋ことがありま す／ありません、(普通体)と思います ／言いました、私もそう思います、私 はそう思いません	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
30	平成28年6月9日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅡ-⑩友 達と話す(普通体で 話せる)	日本語に見られる「ウチ」と「ソト」 (普通体)んです、普通体の会話、女 性語と男性語、関西弁	京都「えき」日本 語教室 坂牧修	
31	平成28年6月13日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑪面 接を受けることがで きる	履歴書の書き方を紹介する ・V可能形、だけ～ます、しか～ませ ん、ぜんぜん～ません、見える、聞こ える	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
32	平成28年6月16日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-⑫洋 服の寸法直しが頼め る	・Vて形から、～、V辞書形まに、～、 VてVます、いadj.くします(くしてくだ さい)、なadj.／NIにします(にしてくだ さい)、普通体ので～	京都「えき」日本 語教室 坂牧修	
33	平成28年6月20日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅡ-⑬店 で修理の依頼ができ る	電化製品の保証書と修理依頼 ・他動詞、自動詞、V自動詞(て形)＋ います、～のに～	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
34	平成28年6月23日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑭災 害情報を人に聞いて 適切な行動ができる	緊急情報を知る手段 ・どうやって、～そうです(様態)、Vた 形＋ほうがいいです、Vない形＋ほう がよいです、体験学習練習	京都「えき」日本 語教室 坂牧修	
35	平成28年6月27日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑮子 供時代や現在のこ と、将来の希望が話 せる	日本で人気がある職業 ・～(普通体)とき～、Vたり、Vたりしま す(しました)、adj.／NIになります、V可 能形ようになります	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	

36	平成28年6月30日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑯警 察(110番)に被害を 報告する、警察署の 講習を受ける	交通ルール ・警察への被害届の出し方	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
37	平成28年7月4日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅡ-⑰情 報を得て予定を立て る	長期休暇中の交通状況 ・～かもしれません(かも)、～そうです (伝聞)、Vて形+おきます、スピーチ 指導	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
38	平成28年7月7日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅡ-⑱再 配達の依頼ができる	宅配便の利用の仕方 ・～たら、～、～たらいいですか、～ま でに／～まで、スピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 坂牧修	
39	平成28年7月11日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅡ-⑲ ATMが使える、わか らない場所を人に聞 いて目的地に行ける	ATMの使い方、京都特有の住所表示 ・V辞書形と、～(条件)、Vない形と、 (条件) ・V辞書形と、～(道案内)、体験学習 練習、スピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
40	平成28年7月14日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-⑳人 の前でまとまった話 ができる	・スピーチの原稿を正しく書き、話す、 スピーチを理解し内容について質問す る	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
41	平成28年10月6日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	14	基礎クラスⅠ-① 自己紹介ができる、 物の名前を尋ねるこ とができる	日本の挨拶ことばとおじぎ ・名前／国名は～です、お(名前、 国)、挨拶表現、おじぎの習慣 ・～は～です、これ／それ／あれ／ 何、(国名)のN、どこの	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
42	平成28年10月13日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	14	基礎クラスⅠ-② 売り場を聞くことがで きる、施設などの営 業時間を聞く	量販店について、日本の施設の利用 時間 ・～はここ／そこ／あそこです、～はどこ ですか、数字(0～100)、助数詞(～ 階) ・時間、今何時ですか、～は～時から ～時までです	京都「えき」日本 語教室 根本尚 子	
43	平成28年10月17日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	12	基礎クラスⅠ-③ファ ストフード店やカフェ で注文できる	飲食店のサービス ・「ひとつ～とお」「200～万」の読みと 聞き取り、助数詞(～円、～枚)、外来 語表記とその発音	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
44	平成28年10月20日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	13	基礎クラスⅠ-④自 分の家族が紹介でき る、自分の誕生日が 言える	自分と相手の家族の呼称 ・数え方(人／年齢)、家族の呼称	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
45	平成28年10月24日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅠ-⑤目 的地を尋ねることが できる	標識や交番のマークについて ・～にあります／います、(移動手段) で、Nの(位置詞)に、(場所)から／ま で	京都「えき」日本 語教室 根本尚 子	
46	平成28年10月27日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-⑥行き 先を確かめてバスや 電車に乗ることがで きる	切符の案内 ・行きます、来ます、帰ります、(場所) へ／から／まで、～と一緒に、～人 で、(時)に、いつ	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
47	平成28年10月31日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅠ-⑦乗り 物での忘れ物を届け 出ることができる	忘れ物窓口で ・いadj.、なadj.、(いadj./なadj.)+Nで す、どんなNですか、(いadj./なadj.) です、～はどうですか	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
48	平成28年11月7日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-⑧旅 行の感想を述べる	地域の名所、観光施設紹介、観光案 内冊子 ・～はどうでしたか、～はadj.でした、～ は～がadj.です／でした、それに、で も、挨拶表現	京都「えき」日本 語教室 根本尚 子	
49	平成28年11月10日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-⑨自 分の体調を医師に伝 えることができる、医 師の簡単な指示が 理解できる	病院、受診料の種類 ・身体の名称、症状、どうしましたか、 ～が痛いです	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
50	平成28年11月14日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-⑩自 分の日常生活につい て話すことができる	日本人の生活を紹介 ・NをVます／ました、(場所)でVます ／ました、(時)にVます／ました	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	

51	平成28年11月17日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅠ-⑪贈り 物について話すこと ができる	日本の贈り物の習慣について ・(人)にVます／ました、あげます／も らいます	京都「えき」日本 語教室 根木尚 子	
52	平成28年11月21日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅠ-⑫図 書館を利用する	公共施設(図書館、公民館)の利用方 法 ・Nができます、V辞書形＋ことができ ます	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
53	平成28年11月24日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅠ-⑬趣 味について話す	日本の伝統的な趣味やスポーツ ・趣味はNです、趣味はV辞書形＋こと です、Nが好きです、V辞書形＋ことが 好きです、Nが得意です	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
54	平成28年11月28日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅠ-⑭駅 の券売機で切符が 買える	自動販売機について ・Vて形＋ください、Vて形＋います(動 作の進行)	京都「えき」日本 語教室 根木尚 子	
55	平成28年12月1日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅠ-⑮友 達と住まいや仕事に ついて話せる	訪問時の挨拶や習慣 ・Vて形＋います(習慣・状態)	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
56	平成28年12月5日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅠ-⑯自 分の希望・要求を伝 えることができる	日本の観光地 ・Nがほしいです、NをVたいです、(場 所)へ／でVたいです、(人)とVたいで す、「どこか」と「どこへ」の違い、ス ピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
57	平成28年12月8日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	9	基礎クラスⅠ-⑰ゴミ の出し方について尋 ねることができる	ゴミの分別の仕方 ・Vて形＋もいいですか、どうしてです か、～から(理由)、スピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 根木尚 子	
58	平成28年12月12日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅠ-⑱人を 誘ったり、人の誘い を受けたりすることが できる	地域の行事やお祭について ・(場所)で(催し)があります、V+ませ んか、V+ましよう、(場所)へN／VIに 行きます、スピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 内田匡 子	
59	平成28年12月15日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅠ-⑲消 防に緊急通報する	安全な暮らし方 ・災害時の対応方法を知る	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
60	平成28年12月19日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅠ-⑳人 の前でまとまった話 ができる	日本の歌、遊び ・スピーチの原稿を正しく書き、話す	京都「えき」日本 語教室 根木尚 子	
61	平成28年10月6日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	13	基礎クラスⅡ-① 初対面の挨拶ができ る、注文ができる	初対面のマナー、日本のファストフ ード・レストランの注文の仕方 ・国名、職業名、場所十の十場所、自 他の区別、お辞儀の習慣 ・買い物や注文をする時の表現、数・ 助数詞、これ・それ・あれ・どれ	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
62	平成28年10月13日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	13	基礎クラスⅡ-②自 分の国(町)が紹介 できる	京都の観光情報 ～は～が～です、～はどんなNです か、～はどうですか、それに／でも／ けれども(けど)／が、(場所)に(N)が あります／います	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
63	平成28年10月17日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	12	基礎クラスⅡ-③クリ ニックで診察を受け ることができる	診察の手順、薬のもらい方 ・不調表現、身体部位名、いadj.～かっ たです／～くなかったです、なadj.～で した／～じゃありませんでした	京都「えき」日本 語教室 北澤正 敏	
64	平成28年10月20日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	12	基礎クラスⅡ-④日 本と出身地が比較で きる	日本の四季と楽しみ方 ・N1はN2よりadj.です、N1とN2とどち らがadj.ですか、N1(の中)で何／どこ／ だれ／いつ／がいちばんadj.ですか	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
65	平成28年10月24日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	14	基礎クラスⅡ-⑤人 を誘う、誘いを受け たり、上手に断ったり できる	京都の三大祭と有名な行事 ・日常生活に必要な動詞、助詞「を」 「で」「に」「から」「まで」、(場所)へ行 きます／来ます／帰ります、Vませんか ／ましよう	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	

66	平成28年10月27日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	13	基礎クラスⅡ-⑥趣 味・嗜好について友 達と話せる	日本人の余暇の過ごし方 ・NはV辞書形ことが～です、V辞書形 ことです、趣味は何ですか Nです	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
67	平成28年10月31日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	12	基礎クラスⅡ-⑦携 帯電話の契約ができ る	役所でできること ・Vて形、Vて形ください、Vて形いま す、Vて形もいいですか	京都「えき」日本 語教室 北澤正 敏	
68	平成28年11月7日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑧ ルールやマナーを理 解して生活できる	地域や社会のルールとマナー(マン ションのルールや公共マナーなど) ・Vない形、Vない形+てください、Vな ければなりません、Vて形+はいけま せん、どうしてですか ～から	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
69	平成28年11月10日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑨自 分の思いや経験が 話せる	日本文化と体験教室の紹介 普通体、Vた形、Vた形+ことがあります ／ありません、(普通体)と思います ／言いました、私もそう思います、私 はそう思いません	京都「えき」日本 語教室 北澤正 敏	
70	平成28年11月14日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-⑩友 達と話す(普通体で 話せる)	日本語に見られる「ウチ」と「ソト」 (普通体)んです、普通体の会話、女 性語と男性語、関西弁	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
71	平成28年11月17日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	12	基礎クラスⅡ-⑪面 接を受けることが できる	履歴書の書き方を紹介する ・V可能形、だけ～ます、しか～ませ ん、ぜんぜん～ません、見える、聞こ える	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
72	平成28年11月21日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	13	基礎クラスⅡ-⑫洋 服の寸法直しが頼め る	・Vて形から、～、V辞書形まえに、～、 VてVます、いadj.くします(くしてくだ さい)、なadj./NIします(にしてくだ さい)、普通体ので～	京都「えき」日本 語教室 北澤正 敏	
73	平成28年11月24日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	12	基礎クラスⅡ-⑬店 で修理の依頼ができ る	電化製品の保証書と修理依頼 ・他動詞、自動詞、V自動詞(て形)+ います、～のに～	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
74	平成28年11月28日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	12	基礎クラスⅡ-⑭災 害情報を人に聞いて 適切な行動ができる	緊急情報を知る手段 ・どうやって、～そうです(様態)、Vた 形+ほうがいいです、Vない形+ほう がよいです、体験学習練習	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
75	平成28年12月1日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑮子 供時代や現在のこ と、将来の希望が話 せる	日本で人気がある職業 ・～(普通体)とき～、Vたり、Vたりしま す(しました)、adj./NIになります、V可 能形ようになります	京都「えき」日本 語教室 北澤正 敏	
76	平成28年12月5日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑯情 報を得て予定を立て る	長期休暇中の交通状況 ・～かもしれません(かも)、～そうです (伝聞)、Vて形+おきます、スピーチ 指導	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
77	平成28年12月8日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑰再 配達の依頼ができる	宅配便の利用の仕方 ・～たら、～、～たらいいですか、～ま でに／～まで、スピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
78	平成28年12月12日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑱ ATMが使える、わか らない場所を人に聞 いて目的地に行ける	ATMの使い方、京都特有の住所表示 ・V辞書形と、～(条件)、Vない形と、 (条件) ・V辞書形と、～(道案内)、体験学習 練習、スピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	
79	平成28年12月15日 (木) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑲消 防(119番)に救急通 報する、消防署の講 習を受ける	災害時の対応 ・消防への通報の仕方	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
80	平成28年12月19日 (月) 10:15～12:30	2	京都府国際セ ンター	13	基礎クラスⅡ-⑳人 の前でまとまった話 ができる	・スピーチの原稿を正しく書き、話す、 スピーチを理解し内容について質問す る	京都「えき」日本 語教室 木村富 士子	

81	平成29年1月19日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	7	基礎クラスⅠ-① 自己紹介ができる、 物の名前を尋ねるこ とができる	日本の挨拶ことばとおじぎ ・名前／国名は～です、お(名前、 国)、挨拶表現、おじぎの習慣 ・～は～です、これ／それ／あれ／ 何、(国名)のN、どこの	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
82	平成29年1月23日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	4	基礎クラスⅠ-② 売り場を聞くことがで きる、施設などの営 業時間を聞く	量販店について、日本の施設の利用 時間 ・～はここ／そこ／あそこです、～はどこ ですか、数字(0～100)、助数詞(～ 階) ・時間、今何時ですか、～は～時から ～時までです	京都「えき」日本 語教室 根木尚 子	
83	平成29年1月26日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	4	基礎クラスⅠ-③ファ ストフード店やカフェ で注文できる	飲食店のサービス ・「ひとつ～とお」「200～万」の読みと 聞き取り、助数詞(～円、～枚)、外来 語表記とその発音	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
84	平成29年1月30日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	4	基礎クラスⅠ-④自 分の家族が紹介でき る、自分の誕生日が 言える	自分と相手の家族の呼称 ・数え方(人／年齢)、家族の呼称	京都「えき」日本 語教室 根木尚 子	
85	平成29年2月2日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	5	基礎クラスⅠ-⑤目 的地を尋ねることが できる	標識や交番のマークについて ・～にあります／います、(移動手段) で、Nの(位置詞)に、(場所)から／ま で	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
86	平成29年2月6日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	3	基礎クラスⅠ-⑥行き 先を確かめてバスや 電車に乗ることがで きる	切符の案内 ・行きます、来ます、帰ります、(場所) へ／から／まで、～と一緒に、～人 で、(時)に、いつ	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
87	平成29年2月9日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	2	基礎クラスⅠ-⑦乗り 物での忘れ物を届け 出ることができる	忘れ物窓口で ・いadj.、なadj.、(いadj.／なadj.)+Nで す、どんなNですか、(いadj.／なadj.) です、～はどうですか	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
88	平成29年2月13日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	4	基礎クラスⅠ-⑧旅 行の感想を述べる	地域の名所、観光施設紹介、観光案 内冊子 ・～はどうでしたか、～はadj.でした、～ は～がadj.です／でした、それに、で も、挨拶表現	京都「えき」日本 語教室 根木尚 子	
89	平成29年2月16日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	3	基礎クラスⅠ-⑨自 分の体調を医師に伝 えることができる、医 師の簡単な指示が 理解できる	病院、受診料の種類 ・身体の名称、症状、どうしましたか、 ～が痛いです	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
90	平成29年2月20日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	4	基礎クラスⅠ-⑩自 分の日常生活につい て話すことができる	日本人の生活を紹介 ・NをVます／ました、(場所)でVます ／ました、(時)にVます／ました	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
91	平成29年2月23日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	3	基礎クラスⅠ-⑪贈り 物について話すこと ができる	日本の贈り物の習慣について ・(人)にVます／ました、あげます／も らいます	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
92	平成29年2月27日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	3	基礎クラスⅠ-⑫図 書館を利用する	公共施設(図書館、公民館)の利用方 法 ・Nができます、V辞書形+ことができ ます	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
93	平成29年3月2日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	3	基礎クラスⅠ-⑬趣 味について話す	日本の伝統的な趣味やスポーツ ・趣味はNです、趣味はV辞書形+こと です、Nが好きです、V辞書形+ことが 好きです、Nが得意です	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	
94	平成29年3月6日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	4	基礎クラスⅠ-⑭駅 の券売機で切符が 買える	自動販売機について ・Vて形+ください、Vて形+います(動 作の進行)	京都「えき」日本 語教室 根木尚 子	
95	平成29年3月9日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	2	基礎クラスⅠ-⑮友 達と住まいや仕事に ついて話せる	訪問時の挨拶や習慣 ・Vて形+います(習慣・状態)	京都「えき」日本 語教室 浅田恭 子	

96	平成29年3月13日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	3	基礎クラスⅠ-⑯自 分の希望・要求を伝 えることができる	日本の観光地 ・Nがほしいです、NをVたいです、(場 所)へ／でVたいです、(人)とVたいで す、「どこか」と「どこへ」の違い、ス ピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 堀部裕 美	
97	平成29年3月16日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	3	基礎クラスⅠ-⑰ゴミ の出し方について尋 ねることができる	ゴミの分別の仕方 ・Vて形＋もいいですか、どうしてです か、～から(理由)、スピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 根木尚 子	
98	平成29年1月19日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	13	基礎クラスⅡ-① 初対面の挨拶ができ る、注文ができる	初対面のマナー、日本のファストフ ード・レストランの注文の仕方 ・国名、職業名、場所＋の＋場所、自 他の区別、お辞儀の習慣 ・買い物や注文をする時の表現、数・ 助数詞、これ・それ・あれ・どれ	京都「えき」日本 語教室 坂牧修 修	
99	平成29年1月23日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	12	基礎クラスⅡ-②自 分の国(町)が紹介 できる	京都の観光情報 ～は～が～です、～はどんなNです か、～はどうですか、それに／でも／ けれども(けど)／が、(場所)に(N)が あります／います	京都「えき」日本 語教室 北澤正 敏	
100	平成29年1月26日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	12	基礎クラスⅡ-③クリ ニックで診察を受け ることができる	診察の手順、薬のもらい方 ・不調表現、身体部位名、いadj.～かつ たです／～くなかったです、なadj.～で した／～じゃありませんでした	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
101	平成29年1月30日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	12	基礎クラスⅡ-④日 本と出身地が比較で きる	日本の四季と楽しみ方 ・N1はN2よりadj.です、N1とN2とどち らがadj.ですか、N1(の中)で何／どこ／ だれ／いつ／がいちばんadj.ですか	京都「えき」日本 語教室 北澤正 敏	
102	平成29年2月2日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	15	基礎クラスⅡ-⑤人 を誘う、誘いを受け たり、上手に断ったり できる	京都の三大祭と有名な行事 ・日常生活に必要な動詞、助詞「を」 「で」「に」「から」「まで」、(場所)へ行 きます／来ます／帰ります、Vませんか ／ましょう	京都「えき」日本 語教室 坂牧修 修	
103	平成29年2月6日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑥趣 味・嗜好について友 達と話せる	日本人の余暇の過ごし方 ・NはV辞書形ことが～です、V辞書形 ことです、趣味は何ですか Nです	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
104	平成29年2月9日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-⑦携 帯電話の契約ができ る	役所でできること ・Vて形、Vて形ください、Vて形いま す、Vて形もいいですか	京都「えき」日本 語教室 北澤正 敏	
105	平成29年2月13日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	12	基礎クラスⅡ-⑧ ルールやマナーを理 解して生活できる	地域や社会のルールとマナー(マン ションのルールや公共マナーなど) ・Vない形、Vない形＋ください、Vな ければなりません、Vて形＋はいけま せん、どうしてですか ～から	京都「えき」日本 語教室 坂牧修 修	
106	平成29年2月16日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑨自 分の思いや経験が 話せる	日本文化と体験教室の紹介 普通体、Vた形、Vた形＋ことがあります ／ありません、(普通体)と思います ／言いました、私もそう思います、私 はそう思いません	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
107	平成29年2月20日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑩友 達と話す(普通体で 話せる)	日本語に見られる「ウチ」と「ソト」 (普通体)んです、普通体の会話、女 性語と男性語、関西弁	京都「えき」日本 語教室 北澤正 敏	
108	平成29年2月23日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑪面 接を受けることが できる	履歴書の書き方を紹介する ・V可能形、だけ～ます、しか～ませ ん、ぜんぜん～ません、見える、聞こ える	京都「えき」日本 語教室 坂牧修 修	
109	平成29年2月27日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	11	基礎クラスⅡ-⑫洋 服の寸法直しが頼め る	・Vて形から、～、V辞書形まに、～、 VてVます、いadj.くします(くしてくだ さい)、なadj./NIにします(にしてくだ さい)、普通体で～	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	

110	平成29年3月2日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-⑬店 で修理の依頼がで きる	電化製品の保証書と修理依頼 ・他動詞、自動詞、V自動詞(て形)+ います、～のに～	京都「えき」日本 語教室 坂牧修	
111	平成29年3月6日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	8	基礎クラスⅡ-⑭災 害情報を人に聞いて 適切な行動ができる	緊急情報を知る手段 ・どうやって、～そうです(様態)、Vた 形+ほうがいいです、Vない形+ほう がよいです、体験学習練習	京都「えき」日本 語教室 北澤正 敏	
112	平成29年3月9日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-⑮子 供時代や現在のこ と、将来の希望が話 せる	日本で人気がある職業 ・～(普通体)とき～、Vたり、Vたりしま す(しました)、adj./Nになります、V可 能形ようになります	京都「えき」日本 語教室 松藤昌 代	
113	平成29年3月13日 (月) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	10	基礎クラスⅡ-⑯情 報を得て予定を立て る	長期休暇中の交通状況 ・～かもしれません(かも)、～そうです (伝聞)、Vて形+おきます、スピーチ 指導	京都「えき」日本 語教室 坂牧修	
114	平成29年3月16日 (木) 10:30～12:45	2	京都府国際セ ンター	14	基礎クラスⅡ-⑰再 配達の依頼ができる	宅配便の利用の仕方 ・～たら、～、～たらいいですか、～ま でに／～まで、スピーチ指導	京都「えき」日本 語教室 北澤正 敏	

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

※2回分を詳細に記載。また、活動内容を示す写真を本報告書に添付

○取組事例①

【第31回 平成28年6月13日】

面接を受けることができる。

導入：自分ができることをTが提示する。

教室活動：

- ①ことば・表現を提示し、発音と意味、用法を確認して練習する
- ②既習(第6回)の「～をV辞書形+ことができます」を提示し、「～がV可能形ます」と可能形を使って短く表現できることを説明する。
- ③可能形の作り方を説明する(板書)
- ④既習の動詞絵カードを見せてⅠⅡⅢグループの順に可能形に変える練習をする
- ⑤可能形文「～が～ますか」「はい～ます／いいえ～ません」をTが提示し、SどうしてQ/Aをする
- ⑥教室から見えるものをTが提示する
- ⑦音の出るものを使って音を鳴らして「～が聞こえます」を提示する
- ⑧「～で何が聞こえますか」「～が聞こえます」を電車で、駅で、うちで、街などで想定してTとSで練習する
- ⑨「見える／見られる」「聞こえる／聞ける」の違いを説明する
- ⑩「～だけ～ます」「～しか～ません」を練習する
- ⑪「ぜんぜん～ません」の全くできないことをTが提示し、練習する
- ⑫会話例「アルバイトの面接」を読み、内容を確認する
- ⑬カタカナの撥音の発音と読みを練習する
- ⑭漢字を提示し、読み方を中心に練習する
- ⑮履歴書の書き方を紹介する



○取組事例②

【第79回 平成28年12月15日】

消防(119番)に緊急通報する、消防署の講習を受ける。

導入：事故や災害の様子を写真や絵カードで紹介する。

教室活動：

- ①事故、災害時のことばや表現を理解する(対訳)
- ②名前、住所、電話番号を言えるようになる
- ③会話例「火事」をもとに練習する
- ④消防署の話聞く(通訳付き)
- ⑤電話を使い通報練習をする



(2) 目標の達成状況・成果

※検証方法(アンケートや評価等)も含めて具体的に記載すること。

在住外国人に対し、生活に必要な日本語の学習機会を提供することに加え、地域の教室に向けた日本語学習支援のためのモデル教室として実施していることから、学習教材を公開するとともに地域日本語教室(11団体35名)からの見学の受け入れを行い、教室運営の参考としてもらった。

(3) 今後の改善点について

※取組の内容や実施体制などについて改善すべき点を具体的に記載すること。

学習教材の配布や授業見学受け入れなど指導方法のノウハウを地域日本語教室に積極的に伝えていくことで、モデル教室としての役割を果たしていく必要がある。

5	平成28年6月11日 (土) 9:30～12:30	3	城陽市国際 交流協会	23	日本語支援ボラン ティア養成講座	実習1 模擬授業 演習で習ったことを使って実際に外国人 学習者に教えてみる	西澤悦子	高橋佐代子 若松章子 山野範枝 岡本絹子 ブフミディ ファ テマ 姜 紅 安 世紅 ポチュエワ オ クサーナ ソボレワ アナ スタシア マガリー カン ブサーノ エンガゲ パマ ドリアナ ミヨー サン ダー アンディカ サ ラソノ
6	平成28年6月18日 (土) 9:30～12:30	3	城陽市国際 交流協会	27	日本語支援ボラン ティア養成講座	演習4 形容詞について ・使う場面や使い方を考える ・形容詞の解説 ・教え方の紹介	西澤悦子	高橋佐代子 渡部真理
7	平成28年6月25日 (土) 9:30～12:30	3	城陽市国際 交流協会	27	日本語支援ボラン ティア養成講座	演習5 可能形について ・使う場面や使い方を考える ・可能形の解説 ・教え方の紹介	高橋佐代子	西澤悦子 若松章子
8	平成28年7月2日 (土) 9:30～12:30	3	城陽市国際 交流協会	26	日本語支援ボラン ティア養成講座	演習6 敬語について ・使う場面や使い方を考える ・敬語の解説 ・教え方の紹介	西澤悦子	若松章子 岡本絹子 村井喜久美
9	平成28年7月9日 (土) 9:30～12:30	3	城陽市国際 交流協会	21	日本語支援ボラン ティア養成講座	実習2 模擬授業 演習で習ったことを使って実際に外国人 学習者に教えてみる	高橋佐代子	西澤悦子 若松章子 村井喜久美 竹村 拓也 ブフミディ ファ テマ 姜 紅 安 世紅 菅田 潤也 クジャナザロフ テムール ソボレワ アナ スタシア マガリー カン ブサーノ エンガゲ パマ ドリアナ
10	平成28年7月16日 (土) 9:30～12:30	3	城陽市国際 交流協会	24	日本語支援ボラン ティア養成講座	京都府における外国人住民の現状 振り返り	岡佑里子 西澤悦子	若松章子 村井喜久美
11	平成28年7月23日 (土) 13:30～16:30	3	峰山総合福 祉センター	20	日本語支援ボラン ティア研修会	地域の日本語教室の役割 ・日本語ボランティアに求められること ・「日本語ってどんな言語？」～日本語 を外国語として見てみよう～ 動詞の活用形を含む文型の指導 ・日本語文法と国語文法の違い ・動詞の「て形」の作り方と教え方	勝間良枝	
12	平成28年7月30日 (土) 13:30～16:30	3	峰山地域公 民館	17	日本語支援ボラン ティア研修会	形容詞文 ・形容詞の種類・用法・活用	勝間良枝	
13	平成28年8月6日 (土) 13:30～16:30	3	峰山地域公 民館	18	日本語支援ボラン ティア研修会	授受表現 ・物の授受 ・行為の授受 助詞	勝間良枝	
14	平成28年8月20日 (土) 13:30～16:30	3	南丹市国際 交流会館	25	日本語支援ボラン ティア研修会	・日本語を教えるスキルの習得(敬語 の教え方) ・在住外国人に関する理解促進 ・地域の日本語教室、日本語支援ボラ ンティアの役割とは？(多文化共生の 視点から) ・グループワーク(日本語教室につい て自発的に考える)	西澤悦子 八木英敏	高橋佐代子 山野範枝 村井喜久美 渡部真理
15	平成28年9月4日 (日) 13:30～16:00	2.5	精華町立図 書館・集会室	46	日本語支援ボラン ティア研修会	「日本語を教える」「日本語を習う」で はなく、両者の「共通の日本語」で相 互理解を図ることを目的とした実践 ワークショップ	岩田一成	
16	平成28年11月25日 (金) 19:00～20:30	1.5	宇治市生涯 学習センター	20	日本語支援ボラン ティア養成講座	・災害時に外国人が陥る状況 ・情報提供・情報発信のあり方 ・「やさしい日本語」とは ・「やさしい日本語」文の作り方 ・ワークショップ	杉本篤子	
17	平成28年9月24日 (土) 13:30～16:30	3	市民交流プラ ザふくちやま	29	日本語支援ボラン ティア養成講座	イントロダクション ～京都府の国際化 の現状、日本語支援ボランティアとは ～	浜田麻里	

18	平成28年10月8日 (土) 13:30～16:30	3	市民交流プラ ザふくちやま	24	日本語支援ボラン ティア養成講座	演習1 です・ます形 ・使う場面や使い方を考える ・です・ます形の解説 ・教え方の紹介	高橋佐代子	西澤悦子 若松章子 村井喜久美 八木英敏
19	平成28年10月15日 (土) 13:30～16:30	3	市民交流プラ ザふくちやま	27	日本語支援ボラン ティア養成講座	演習2 動詞のグループ分け て形について ・使う場面や使い方を考える ・グループ分け、て形の解説 ・教え方の紹介	若松章子	西澤悦子 高橋佐代子 八木英敏
20	平成28年10月22日 (土) 13:30～16:30	3	市民交流プラ ザふくちやま	22	日本語支援ボラン ティア養成講座	演習3 普通形について ・使う場面や使い方を考える ・普通形の解説 ・教え方の紹介	若松章子	西澤悦子 高橋佐代子 八木英敏
21	平成28年10月29日 (土) 13:30～16:30	3	市民交流プラ ザふくちやま	20	日本語支援ボラン ティア養成講座	実習1 模擬授業 演習で習ったことを使って実際に外国人 学習者に教えてみる	高橋佐代子	西澤悦子 山野範枝 岡本絹子 八木英敏 斉藤アイリー ン 李 偉 Tran Trong Hai フィクリ ワヒュ アズハリ ラフマト アン ドリ シスワン ト ジョシュアー リビアー 田中ピラメシア 浅田馨慧 鍋田ノルマ
22	平成28年11月5日 (土) 13:30～16:30	3	市民交流プラ ザふくちやま	23	日本語支援ボラン ティア養成講座	演習4 形容詞について ・使う場面や使い方を考える ・形容詞の解説 ・教え方の紹介	西澤悦子	高橋佐代子 若松章子 村井喜久美 八木英敏
23	平成28年11月19日 (土) 13:30～17:30	4	市民交流プラ ザふくちやま	19	日本語支援ボラン ティア養成講座	演習5 可能形について ・使う場面や使い方を考える ・可能形の解説 ・教え方の紹介	高橋佐代子	西澤悦子 村井喜久美 渡部真理 八木英敏
24	平成28年11月26日 (土) 13:30～16:30	3	市民交流プラ ザふくちやま	18	日本語支援ボラン ティア養成講座	演習6 敬語について ・使う場面や使い方を考える ・敬語の解説 ・教え方の紹介	西澤悦子	高橋佐代子 山野範枝 八木英敏
25	平成28年12月10日 (土) 13:30～16:30	3	市民交流プラ ザふくちやま	16	日本語支援ボラン ティア養成講座	実習2 模擬授業 演習で習ったことを使って実際に外国人 学習者に教えてみる	西澤悦子	高橋佐代子 岡本絹子 渡部真理 八木英敏 斉藤アイリー ン 李 偉 Tran Trong Hai フィクリ ワヒュ アズハリ ラフマト アン ドリ シスワン ト ジョシュアー リビアー 田中ピラメシア 中田弁更 大西継娜 浅田馨慧 トリン ステラ
26	平成28年12月17日 (土) 13:30～16:30	3	市民交流プラ ザふくちやま	14	日本語支援ボラン ティア養成講座	京都府における外国人住民の現状 振り返り	朴沙羅 西澤悦子 高橋佐代子	高橋佐代子 西澤悦子 若松章子 八木英敏
27	平成29年1月21日 (土) 13:30～16:30	3	福知山市総 合福祉会館	10	日本語支援ボラン ティア養成講座	・日本語教室について ・グループディスカッション ・教室立ち上げに向けての運営会議		西澤悦子 高橋佐代子 八木英敏 青木良子

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

※2回分を詳細に記載。また、活動内容を示す写真を本報告書に添付

○取組事例①

【第15回 平成28年9月4日】

マンツーマンで運営されている日本語教室で、ボランティアと在住外国人との日本語による「交流活動」が少ない負担で楽しくできるようになり、「日本語を教える」「日本語を習う」ではなく、両者の「共通の日本語」で相互理解を図ることを目的とした実践ワークショップ

- ・やさしい日本語で話す
- ・日本語がうまいとは？
- ・コミュニケーションに必要な日本語
- ・対話型日本語支援活動の例



○取組事例②

【第18回 平成28年10月8日】

日本語支援ボランティア養成講座 演習1 です・ます形

- ・使う場面や使い方を考える
 - ・です・ます形の解説
 - ・教え方の紹介
- 動詞や文型「～ません」「～ました」「～ませんでした」のジェスチャーを使った導入方法



(2) 目標の達成状況・成果

※検証方法(アンケートや評価等)も含めて具体的に記載すること。

・ボランティア養成講座については、府内の地域日本語教室のネットワーク組織である「京都にほんごRings」の加盟教室からの経験豊富な講師陣の丁寧な指導により参加者の満足度は非常に高いものだった。特に、現状日本語教室空白地域である福知山市での開催においては、新規立ち上げの中心メンバーとなるボランティアが生まれ、大きな成果が得られた。

・ボランティアを対象としたスキルアップ研修については、日本語支援活動を継続していくためには欠かせないものであるが、各教室が単独で実施するには予算や人員の面から容易ではないため、当センターが広域的に実施することで効率よく各団体への支援となっている。

(3) 今後の改善点について

※取組の内容や実施体制などについて改善すべき点を具体的に記載すること。

ボランティア養成講座については、空白地解消の最重要ツールとして機能しているが、地域教室から府北部、南部でそれぞれ定期開催を希望する声が多いため、講師やサポートメンバーの確保のためより多くの教室から協力を得て関わる団体を増やしながらネットワーク形成も含めて取り組んでいく必要がある。

＜取組4＞									
取組4	取組の名称		日本語教育理解促進事業						
	取組の目標		日本語教育体制整備のため全国各地で様々な事業が展開されているが、一般住民にはまだまだ遠い存在であり、その意義が広く一般に認知されているとは言えない現状である。日本語教育は多文化共生の核であり、外国人住民支援だけでなく日本語を獲得することで社会参画し、地域に貢献できる人材を輩出するという意義があるということについて行政や一般住民の理解を促す。						
	取組の内容		地域住民への啓発事業 一般住民向けの地域イベントなどにおいて、活動報告やブース出展により各日本語教室のPRや日本語教育の必要性について啓発を行う。						
	☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動							
	取組による体制整備		日本語教育の意義について一般住民の理解を促進することで日本語学習支援の裾野を広げ、市町村行政からの協力を得やすくし、日本語教育体制整備における役割の一端を担ってもらう。						
	取組による日本語能力の向上								
	参加対象者		一般住民				参加者数 (内 外国人数)	2,941人 (人)	
	広報及び募集方法		京都府広報、市町村広報、ホームページ、ちらしなど						
	開催時間数		総時間 22時間(空白地域 時間)						
	主な連携・協働先		地域日本語教室、京都府府民力推進課						
開催場所		京都府国際センター、京都市内							
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	参加者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名	
1	平成28年9月10日 (土)・11日(日) 10:00～18:00	16	京都府国際センター	1,941人	多文化共生、日本語教育への理解促進	国際協力広報イベント「国際協力カステーション」における多文化共生・日本語教育への府民の理解促進のためのブース出展			
2	平成28年11月23日 (水・祝) 10:00～16:00	6	京都府立植物園	1,000人	多文化共生、日本語教育への理解促進	府民交流イベント「あすのKyoto・地域創生フェスタ」における多文化共生・日本語教育への府民の理解促進のためのブース出展			

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

※2回分を詳細に記載。また、活動内容を示す写真を本報告書に添付

○取組事例①

【第1回 平成28年9月10日、11日】

国際協カステーション ブース広報、ワークショップ等実施

ブース 多文化共生・日本語教育に関するクイズ

ワークショップ「未知との遭遇～多文化交流会で何かが起きる！？～」多文化共生の理解促進のための参加型ワークショップ(国際交流員による)

グローバルセッション「外国につながる子どものサポートの仕方」



○取組事例②

【第2回 平成28年11月23日】

あすKyoフェスタ ブース出展

多文化共生・日本語教育に関するクイズを実施

・ブース前で来場者にクイズに参加してもらうようスタッフが案内・PR

・ブース内で来場者がクイズに解答(留学生や国際交流員などの担当スタッフが質問シートを提示し、来場者と会話しながらヒント(掲示パネル)も示す)

・全問正解者は抽選会に参加



(2) 目標の達成状況・成果

※検証方法(アンケートや評価等)も含めて具体的に記載すること。

多文化共生や日本語教育については一般住民への理解促進が容易ではないが、留学生や国際交流員の協力を得ることで楽しく身近なものとしてアピールができた。広く一般住民の方々への啓発活動としては効果的であるため、今後も引き続き取り組んでいきたい。

(3) 今後の改善点について

※取組の内容や実施体制などについて改善すべき点を具体的に記載すること。

一般住民には遠い存在であり、その意義や存在が認知されていない日本語教育や日本語教室を身近に感じてもらえるよう、地域日本語教室や市町村国際交流協会などと連携しながら啓発ブースの出展や活動報告会などの機会を各地で設ける必要がある。

4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

※「2. 事業の目的」を転記してください。

地域における日本語支援などの多文化共生に係る施策を推進するにあたり、府内市町村や市町村国際化協会だけでは十分に事業を展開できないケースが多い。そのため、当センターが中心となって日本語支援ボランティアの養成・研修や日本語教室の立ち上げ・運営に関する支援事業を各地域で展開し、京都府の日本語教育体制の整備につなげる。また、地域における日本語教育を持続可能なものとするため、事業実施にあたっては各市町村と協働し、行政の役割としての日本語教育について理解を深めてもらう。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果 ※3つの取組を通して得られた成果について検証方法も含めて

府内日本語教室のネットワーク化を目的とした京都府日本語教室ネットワーク会議をベースとして、府内日本語教育体制について協議し、そこで出た課題や情報をもとに市町村国際交流協会など地域団体と協働しての人材養成や研修を実施した。また日本語教室においては外国人住民へ日本語学習の機会を提供できたことに加え、カリキュラムや指導法を公開するなど地域日本語教室の参考となる教室モデルを示すことができた。
これらの取り組みも含め日本語教育の必要性について一般住民にアピールする場も新たに設けることで理解促進を図った。

(3) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

府内市町村、市町村国際化協会および府内日本語教室ネットワーク組織である京都にほんごRingsと連携して日本語教室のネットワーク化を図り、日本語学習支援の人材育成において日本語学校や地域日本語教室の協力を得て新規ボランティアの養成や既存ボランティアの研修を実施。
また、人材養成後には開催地各市町村や市町村国際化協会に日本語支援ボランティアの受け皿役を担ってもらった。

(4) 事業実施に当たったの周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

・当センターのHP・機関誌に加え、事業実施地域の市町村や国際化協会の広報ツールを活用して参加者への周知・広報を行った。
・外国人住民の府政への参加を推進し、外国人住民と共に生きる京都府づくりを進めることを目的に設置されている「京都府外国籍府民共生施策懇談会」にて日本語教育に係る事業成果の報告を行った。

(6) 改善点、今後の課題について

①京都市を除く京都府内市町村では外国人住民は広域的に散在しており、市町村および国際化協会の多くが規模が小さいため、多文化共生事業にまで取り組むことが困難である。そのような中、多文化共生推進において要となる日本語教育については、地域日本語教室の多くは行政の支援が得られず、ボランティアの善意と熱意でようやく成り立っている現状であり、学習機会の提供、指導人材の育成、一般住民への理解促進などに課題を抱えている。
②日本語教育体制整備のため全国各地で様々な取り組みが展開されているが、一般住民にはまだまだ遠い存在であり、その意義が広く一般に認知されているとは言えない状況にある。日本語教育は多文化共生の要であり、外国人住民への支援だけでなく、日本語を獲得することで社会参画し、地域に貢献できる人材を輩出するという意義について行政や一般住民の理解を促す必要がある。また、現在ボランティアに依存している地域の日本語教育について、行政がその役割を認識して地域日本語教室と協働して取り組んでいけるような体制を整備する必要がある。
③・府内日本語教室のネットワーク化
・府内市町村へのモデルとしての日本語教室の開催
・地域と協働した日本語学習支援人材の育成(日本語学習支援者の拡大と中核メンバーの養成)
・広域散在に対応した日本語学習支援
・日本語教育への理解促進

(7) その他参考資料